

暮らしの瓦版

カビ・ダニの季節

これからがピークを迎えるカビ・ダニの繁殖時期

これからの季節は、蒸し暑さが増してきます。帰宅すると家の中がモワツとしていませんか？この季節、家の中で特に気になるのがカビです！カビはアレルギー因子の一つです。高温多湿な環境にカビ、ダニの増加は状態を悪化させる為、気をつけねばなりません。カビは15℃から繁殖し、20℃を超えると増殖します。また湿度60%くらいから繁殖し始め、多湿であればあるほど繁殖。何よりゴミやホコリを好みます。6月～8月の平均湿度は、東京都で70%を超えています。この時期日本は、カビ・ダニにとっての天国といえます。現在の住宅は、高密度、高断熱で、空気がこもりがち、これがカビ・ダニの発生に拍車をかけているのです。

梅雨時期のダニ・カビ・湿気対策！この3ヶ所が大切

- 風呂場→ 使用後は必ず換気しましょう。使用中も換気扇を使用し、水滴を拭き取り、冷水を全体にかけ湿度を下げるだけでも効果的です。
- 寝具→ 寝ている間にかく汗で、湿気を吸収します。天気の良い日に布団を干すのは効果的ですが、叩くとダニの死骸が表面にでます。掃除機などで吸い取りましょう！
- 台所→ 食中毒が増える季節です、清潔さを保つようにしましょう。食材は新鮮なうちに使い切り、料理中は湿度があがります。換気扇を忘れずに回したり、戸棚の中も換気を！

ここでポイント！エアコンを上手に利用しよう。

エアコンの除湿機能は湿度を下げ、不快なジメジメを和らげる効果があります。うまく活用して、快適に過ごしましょう！でも注意が必要です。フィルターの汚れが湿気を含んでダニやカビが繁殖するとカビの胞子やダニの死骸、フンなどがまき散らされます。本格的にエアコンを使う夏を迎える前に、エアコンの掃除をしましょう！

震災への備え

2022年3月16日23時30分頃、福島県沖で最大震度6強の地震が発生しました！

常に備えて、身構えていられるように、防災を習慣づけよう！

災害は忘れた頃にやってくる！と言いますが…2022年3月16日23時30分過ぎ、福島県沖で最大震度6強の地震が起こりました。折しも3.11を彷彿とさせる揺れで、SNSのタイムライン上にも情報が飛び交ったりしました。地震や自然災害に対する備えは出来ていますか？「備えあれば憂いなし。」いま一度、大きな災害に直面した時、自分ならどのような行動ができるのか、考えてみましょう。立て続けに起こる地震、備えを見直すきっかけにしましょう！

普段はすっきり快適に、災害時も安心して暮らせる「防災お片付け」とは？

※「安全かどうか」「災害時も考えた整理整頓」

「ローリングストック法で備蓄」3つを意識したお片付け！

- ①安全かどうか→転倒防止用の器具を取り付け、小型家電も飛ばないようにしっかりと固定。
- ②災害時も日常も考えた整理→床に物を置かない、重い物は下に収納。防災目線。
- ③ローリングストックで備蓄→賞味期限を切らさない。古い物から消費、消費した分を補充。

※「防災お片付け」でいいこといっぱい！

防災お片付けをする事で、毎日の過ごし方がゲンと変わります。ケガのリスクが減り、家事の効率もアップ！リビングや廊下にモノを置かないと、掃除もラクチンなんです！余分なモノを買わなくする事で、節約にもつながるのです。

2022
6月号



震災、いざという時の準備はしていますか？

- 家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう。
 - 寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。
 - 手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。
- 食料・飲料などの備蓄、十分ですか？
- 電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ普段の生活の中で利用されている食品等を備えましょう。
- 飲料水 3日分(1人1日3Lが目安)※ 大規模災害発生時は「1週間分」
 - 非常食 3日分の食料として、ご飯、ビスケット、チョコ、乾パンなど
 - トイレトーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど
- ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか？

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。

※ 飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、お風呂の水をいつも張っておく、などの備えをしておきましょう。

そして一番は過去の震災を忘れない事が大切なのです！

北本建設からのお知らせ



家をメンテナンスしてみませんか？住みやすい家に！

小さな修理から大きな建物建設まで、建物の事なら何でもご相談ください。過ごしやすく住みやすい住宅を考えてみませんか？ご相談にのります！天気の良い日に自宅を一度チェックして、気になる場所があれば是非、北本建設にご相談下さい！

特に使用してないお家がある方はご連絡下さい！今のままでいいですか？考えてみましょう！

以前は使用していたが今は住んでいない家や、物置、倉庫などは御座いませんか？空家にしたままですと色々な危険が御座います！例えばタヌキやハクビシンなどが住んでしまったりそこで繁殖してしまったりもします。住んでいないからいいと思っていたらそれは危険です！菌も怖いですが、建物が腐り倒壊することもあるので、是非ご相談ください。

6月一粒万倍日 9・10・21・22日

北本建設株式会社 ☎ 048-591-1234

担当者 太田まで